

2019年度 自己評価・幼稚園評価報告書

2020年3月
信望愛学園 高千帆小百合幼稚園

2020年2月21日に、さゆりの会役員様3名、さゆりの会会員様2名、地域代表者2名、園長、主任の9名で評議委員会を行いましたのでご報告致します。

高千帆小百合幼稚園の教育方針

子どもが神から受けた生命を喜び、人を愛し人から愛されて生きるための基礎となる人格を形成されるよう自己活動を援助します。

子どもの真の幸せへ導く生命を担っている両親を励まし、責任が果たされるよう協力し助けます。

1. 教育目標「神様と繋がり、人と繋がり、毎日を喜んで生きる子ども」

2. 本年度の重点目標

「友達や自然、世界との関わりの中で自由と自立の発達を促す」

- ①平和について考え、環境にあるたくさんの命の存在を感じ、それを大切にできるように伝えていく。
- ②保健・安全管理についてそれぞれの理解を深め、事故や緊急事態の発生時に対応できるように、研修を行う。
- ③保護者、地域住民との関わりを深め、子育てが孤育てにならないような関係性を築けるよう努める。

3. 活動計画、及び、評価と取り組み状況・所見

活動計画(評価項目)	評価	取 り 組 み 状 況・所 見
<p>① 平和について考え、環境にあるたくさんの命の存在を感じ、それを大切にできるように伝えていく。</p> <ul style="list-style-type: none">・マリアカフェの開催、年3回・「宗教」＝神様のお話の時間8回 マリア祭 七五三祝福式・マリア祭/さゆり祭/クリスマスの特別祈禱月刊での活動 ・年長児お泊り保育での活動	B	<ul style="list-style-type: none">・講師の片柳神父様の『宗教』の時間を月1回、園児と職員のためにとっている。また、保護者に対しても学期に一度、「マリアカフェ」を開催した。今年度は、教皇フランシスコの来日もあり、子ども達にも「全ての命を守るために」というメッセージを分かりやすくお話して頂き、命の大切さを感じることができた。・また、今年度はユニセフやカリタス等の活動を詳しく知ることにより、世界に目が向けることができた。今の自分達で何ができるかを考え、目的や目標を持って活動できたことは、責任感や達成感も感じることもできたように思う。・年長児はお泊り保育でも宇宙に目を向けることにより、自分達が生きているこの地球や地球環境に興味を持つことができた。

<p>② 保健・安全管理についてそれぞれの理解を深め、事故や緊急事態の発生時に対応できるように、研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 山陽小野田・美祢地区の研修会の内容 『赤十字幼児安全法講習会』 防災総合訓練の実施年2回 部分訓練8回 11月14日(木)に、現在徒歩や車で送迎の保護者の皆様を対象に「引き渡し訓練」の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年の自己評価の反省から、子ども達の怪我や疾病に関して各自が自信を持って関わる事ができるように、外部の指導を受け、実際に訓練することができた。繰り返しの見直しを行うことが責務とを感じる。 <p>《内容》</p> <p>子どもの安全のために私たちができること</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもに起こりやすい症状と手当てを知る • 負傷時の止血法や対応について • 子どもの心肺蘇生とAEDの使い方と実践 <ul style="list-style-type: none"> • 総合訓練では、「誘導・避難・通報・消火器の訓練」を行う • 部分訓練では、上記の訓練の一部を細やかにを行い、基本的な避難のポイントや方法を知る。 • 小学校と連携し、災害時や有事の際の園児引き渡し訓練を行う。保護者の方には、幼稚園にお迎えの際に、マックスバリュ方面から来園して頂き、小野田高校方面へ帰宅して頂くようお願いしている。
<p>③ 保護者、地域住民との関わりを深め、子育てが孤育てにならないような関係性を築けるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> つぼみ組の活動 なかよし体操広場の開催 園庭解放日の充実 (毎週火曜日) 年長児小学校訪問2回 中学校「職場体験」2日間 小野田高校「家庭科の実習」4日間 	A	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年10月からの保育料無償化制度に対応できるよう満3歳児を受け入れるための準備をした。 • 満3歳児保育の充実→つぼみ組としてお仕事の時間は天使組で過ごし、絵画や体操等の横割りも同年齢で行う。その後3~6クラスへ移動する(給食・外遊び) • なかよし体操広場を実施した。9回(予定では10回だったが、コロナウィルスのため中止) • 園庭開放日を増やし、親子揃って自由に幼稚園に遊びに来ることができるようにした。 • 小学校・中学校・高校と近隣の教育機関と繋がり、お互いの存在を知る交流ができた。 • 小野田高校生のボランティア活動を受け入れ、交流した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>2の重点目標を達成するために計画的に取り組んだ結果、友達や自然、世界との関わりが気付き、自由と自立の発達を促すことができた。今後も引き続き取り組み、子ども達の成長に深く関わっていきたい。</p> <p>また、保護者からのアンケート結果を合わせ見ることにより、より良い幼稚園教育を進めていくための課題も明確になった。</p>

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

課 題	具体的な取り組み状況
① 研修（資質向上の取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック幼稚園としての教育目標に取り組むため、園内外の研修の実施と参加 ・モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める
②教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や室内の環境について話し合い、遊びや運動が充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
③情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・行事のお知らせや園だよりをより分かりやすくし、お勤めされている方が増えたため、出来る限り早い配布に努める。

6. 幼稚園評価委員会の評価

- ・教育方針、教育目標、計画をより分かりやすく明記すると良い。活動計画を数値化することで、今後の評価がしやすくなる。
- ・重点目標とされていた①については、子ども達の様子や行事を通して、園での学びを感じることができた。特に年長児は、宇宙、地球、世界を知り、平和や環境についても自主的に学ぶ姿が見られ、家庭でも子どもからの報告で知ることができていた。今後もこのような子どもを中心とした活動を行って欲しいと感じる。
- ・②については今後もこのような研修を繰り返し行いながら、過去の事故例なども見直し、幼児に起こりやすい事故の防止や重篤になりやすい疾病についての学びを深めて頂きたい。
- ・③についても近隣の学校との関わりを園便りや子ども達からの報告で知ってはいたが、活動内容に名称を付けて紹介してもらい、活動計画を数値化して知らせてもらえると分かりやすく、評価しやすくなる。
- ・活動計画が諸事情により実施できなかったものも明記してあると、幼稚園の方針や取り組みがより理解でき、保護者としても安心できる。
- ・今後の課題、③の情報提供について・・・子ども達の活動内容については、「ハピネス」（クラス便り）で活動後のことは知ることができるが、園便り等で月毎の子ども達の活動計画を知らせてもらえると、子どもとのコミュニケーション作りに役立てることができる。また、年間予定表の中にある、「宗教」と明記されているものは、「神父様による神様のお話の時間」等で分かりやすくすると良い。

〈幼稚園より〉

- ・評議委員会において、教育方針、教育目標、計画をより分かりやすく明記するようにご意見を頂き、内容は変えず、評価項目を計画とし、取り組み状況の項目に所見を取り入れた。また活動計画を数値化し、より分かりやすい評価報告書とした。

皆様からのご意見をもとに、2020年度に向けて職員一同心を一つにして、更なる教育活動の充実、環境の整備、職員の資質向上に努めます。